(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第4829657号
(P4829657)
(45)発行日　平成23年12月7日(2011.12.7)　(24)登録日　平成23年9月22日(2011.9.22)

(51)Int.Cl.　F I
B42D 3/18 (2006.01)　B42D 3/18 D

請求項の数 1 (全 6 頁)

(21)出願番号　特願2006-93165 (P2006-93165)
(22)出願日　平成18年3月30日 (2006.3.30)
(65)公開番号　特開2007-261230 (P2007-261230A)
(43)公開日　平成19年10月11日 (2007.10.11)
審査請求日　平成21年2月19日 (2009.2.19)

(73)特許権者　595177419
山下　博見
東京都品川区荏原７丁目２１番７号
(74)代理人　100078950
弁理士　大塚　忠
(72)発明者　山下　博見
東京都品川区荏原７丁目２１番７号

審査官　槙　俊秋

最終頁に続く

(54)【発明の名称】書籍用自在カバー

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

１対のカバー片からなり、第１のカバー片はほぼ方形の表紙部とその係合端から係合方向に突出する中央舌部とその両側に離間してかつ平行に突出する側舌部とから構成され、第２のカバー片はほぼ方形の表紙部とその係合端から係合方向に突出する中央舌部とから構成され、第２のカバー片の中央舌部は第１のカバー片の中央舌部より広幅でかつ第１のカバー片の中央舌部を挿通するための長孔がその幅方向に形成されており、両カバー片の係合部近辺において第２のカバー片の外側に当該係合部を被覆する覆片が幅方向に延在して添着されており、該覆片の幅方向少なくとも一端から保持片が突出し、該保持片が第１のカバー片と書籍の表紙を巻き込んで内側へ折り曲げられることを特徴とする書籍用自在カバー。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

この発明は書籍用自在カバーに関するものであり、より詳しくは本出願人による特願平８－１１２０４９号の発明「書籍用自在カバー」の改良に関するものである。

【背景技術】

【０００２】

この発明の自在カバーは１対のカバー片から構成されるものであるが、この明細書ではこれらのカバー片が互いに組み付けられる端部を「係合端」といい、互いに組み付けられ

る方向を「係合方向」といい、これと直交する方向を「幅方向」という。またカバーに関して「内側」とは書籍に接触する側をいい、これと反対側を「外側」という。
【０００３】
新刊書籍の場合には一般に発行元書店から装飾用のカバーを付して販売されている。しかし古本や蔵書などの場合にはそのようなカバーはないので、読者が自分で適当な用紙でカバーを作って装着して携帯している。
【０００４】
ところで書籍には文庫版やブックス版や一般書籍など種々の寸法規格のものがあるが、同一寸法規格でも頁数により厚さが異なる。したがって従来のような自作の紙製のカバーだと、厚さ毎に別個のカバーを作る必要があり煩雑であった。
【０００５】
前記の先願の発明はかかる問題に対処すべく提案されたものである。
【０００６】
該先願のカバーは１対のカバー片を有しており、これら１対のカバー片を係合方向に重合状態に組み付けることにより構成されている。
【０００７】
係合部における重合の度合いを変更することにより全体の係合方向の長さが調節されるので、種々の厚さの書籍に装着することが可能となる。
【特許文献１】特願平８－１１２０４９号
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００８】
ところが先願発明のカバーの場合には、カバーの外側に係合部が一部露出されるので、長期に亙る使用により係合部が摩耗・破損し易い。また外観上も好ましくない。さらに携帯中移動中にカバーに装着した書籍がカバーの幅方向に脱離することがある。
【０００９】
かかる先願発明の欠点に鑑みてこの発明の目的は、係合部の摩耗・破損がなく、しかも装着した書籍の脱離を防止することにある。
【課題を解決するための手段】
【００１０】
このためこの発明の書籍用自在カバーは１対のカバー片からなり、第１のカバー片はほぼ方形の表紙部とその係合端から係合方向に突出する中央舌部とその両側に離間してかつ平行に突出する側舌部とから構成され、第２のカバー片はほぼ方形の表紙部とその係合端から係合方向に突出する中央舌部とから構成され、第２のカバー片の中央舌部は第１のカバー片の中央舌部より広幅でかつ第１のカバー片の中央舌部を挿通するための長孔がその幅方向に形成されており、両カバー片の係合部近辺において一方のカバー片の外側に覆片が幅方向に延在して添着されており、該覆片の幅方向少なくとも一端から保持片が突出していることを要旨とするものである。
【発明の効果】
【００１１】
覆片がカバーの係合部を覆うので係合部の摩耗・破損がなく、しかもカバーを書籍に装着した状態で保持片が書籍の表紙をカバーの内側に対して押さえるので、携帯移動中の書籍の脱離が効果的に防止される。
【実施例１】
【００１２】
この発明の自在カバーの分解状態を図１に示す。このカバーは第１と第２のカバー片１、２により構成されている。両カバー片の係合方向と幅方向の寸法は必要に応じて、つまり対象とする同一寸法規格の書籍の予想される厚さの変化に応じて、適宜設定される。
【００１３】
第１のカバー片１はほぼ方形の表紙部１とその係合端から係合方向に突出する中央舌部

１２を有している。中央舌部の両側には隙間１４を間において１対の側舌部１３が中央舌部１２と平行に係合方向に突出している。

【００１４】

第２のカバー片２はほぼ方形の表紙部２１とその係合端から係合方向に突出する中央舌部２２とを有している。この中央舌部２２の幅は第１のカバー片１の中央舌部１２の幅よりも若干大き目とし、第１のカバー片１の両側舌部１３間の間隔より若干小さ目と設定するのが望ましい。中央舌部２２の基部には長孔２３が幅方向に延在して刻設されている。この長孔２３の長さは第１のカバー片１の中央舌部１２を自由に挿通できる程度にする。

【００１５】

図２に示すのは組付け状態の自在カバーである。第１のカバー片１の中央舌部１２は第２のカバー片２の中央舌部２２の下側から長孔２３を挿通して表紙部２１の上に位置している。また第１のカバー片１の両側舌部１３はそれぞれ第２のカバー片２の表紙部２１の上に位置している。したがって第１のカバー片１の中央舌部１２の挿通の度合を変更することにより、カバー全体の係合方向の長さを装着する書籍の厚さに応じて自由に調節することができる。

【００１６】

使用に際しては図２に示す状態の自在カバー上に装着する書籍を載せて、両カバー片１、２の係合方向の端部１５、２５を書籍の上に包み込むようにして折り込んでやればよい。

【００１７】

以上記載したのが先願発明の自在カバーの構成と使用方法である。ついでこの発明について図３により説明する。

【００１８】

図３に示すようにこの発明にあっては、両カバー片１、２の係合部３０近辺において一方のカバー片（図示の例では第２のカバー片２）の外側に覆片３１が幅方向に延在して添着されており、該覆片３１の幅方向一端から保持片３２が突出している。

【００１９】

覆片３１のカバー片への添着はミシンなどによる縫合によってもいいし、接着剤などによる貼付によってもよい。保持片３２は覆片３１と一体に形成してもよく、別体に形成してミシンなどにより覆片３１に縫合してもよい。また覆片３１の形状は図４に示すように一部を弧状に形成してもよい。さらに保持片３２は覆片３１の幅方向両端から突出するようにしてもよい。

【００２０】

使用に際しては、上記したようにカバーを書籍に装着した後、保持片３２を図３中矢印で示すように係合部３０を覆うようにしてカバー片に沿わせて、保持片３２を第１のカバー片１と装着する書籍<u>の表紙を巻き込んで、</u>内側へ折り曲げればよい。<u>このようにすると、両カバー片１，２の係合部３０、すなわちカバー片１の側舌片１３と隙間１４の基端部及び隙間１４から露出する中央舌片２２の幅方向両縁部が覆片３１により被覆され、外部に露出しないので、外観が向上するし、係合部の摩耗・破損を防ぐことができる。</u>

【産業上の利用可能性】

【００２１】

この発明は書籍業界などの分野において広く利用することができる。

【図面の簡単な説明】

【００２２】

【図１】この発明を適用する自在カバーの分解平面図である。

【図２】同じく組付け斜視図である。

【図３】この発明の一実施例を適用したカバーの斜視図である。

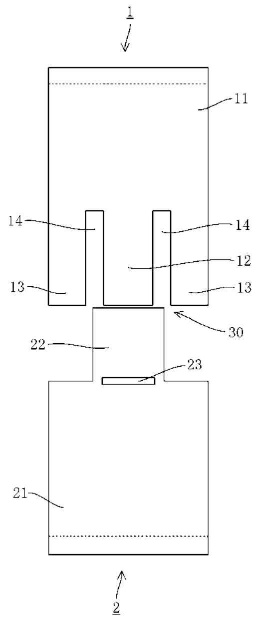
【図４】この発明の他の実施例を示す平面図である。

【符号の説明】

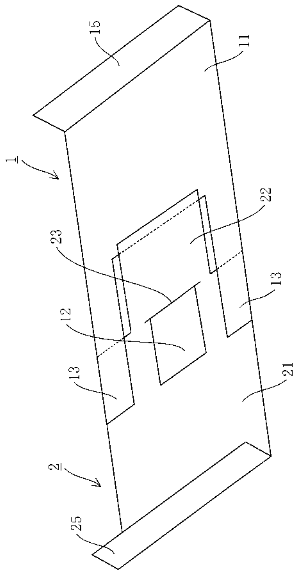
【００２３】

１、２　　　：　カバー片
１１、２１：　表紙部
１２、２２：　中央舌部
１３　　　　：　側舌部
２３　　　　：　長孔
３０　　　　：　係合部
３１　　　　：　覆片
３２　　　　：　保持片

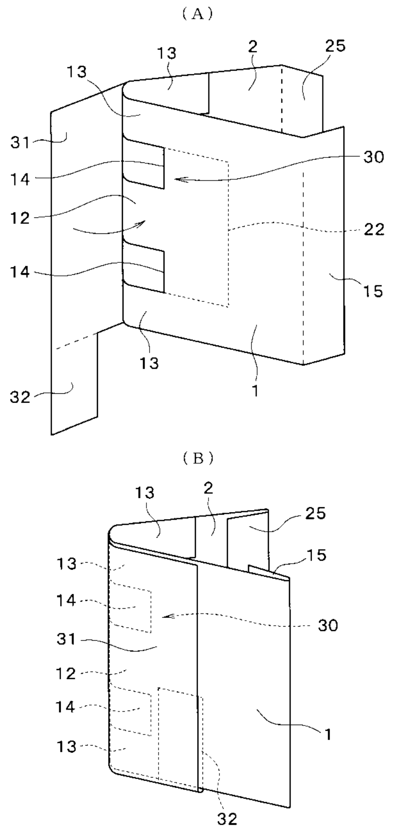
【図１】



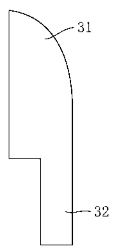
【図２】



【図３】


(A)
13
13
2
25
31
30
14
12
22
14
15
13
1
32
(B)
13
2
25
15
13
14
30
31
12
14
1
13
32

【図４】


31
32

フロントページの続き

(56)参考文献　登録実用新案第３０２５１２０（ＪＰ，Ｕ）
登録実用新案第３００６３３５（ＪＰ，Ｕ）
特開平０９－２７７７４１（ＪＰ，Ａ）
登録実用新案第０４３２２３（ＪＰ，Ｚ２）
実開平０２－１３９７６９（ＪＰ，Ｕ）
実開平０６－０７９５６６（ＪＰ，Ｕ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｂ４２Ｄ　　１／００－１５／００
Ｂ４２Ｄ　１５／０４－１５／０８
Ｂ４２Ｄ　１７／００－１９／００